• 平成 31 年度当初予算の主な事業



スポーツ・文化・生涯学習



第11回を迎えた 2019 そうじゃ吉備 路マラソンは、復 興支援チャリティ マラソンとして開 催

●そうじゃ吉備路マラソン大会経費

2474万3000円

そうじゃ吉備路マラソン大会を開催する経費

●体育施設維持管理経費 1億9020万9000円 体育施設の整備や維持管理に要する経費



その他

● (仮称)雪舟生誕地公園整備事業

2億5006万円

画聖雪舟生誕 600 年にあたる 2020 年に向けて、赤浜にある雪舟生誕地に公園を整備するもの

●コンビニ交付関連事業 3328 万 5000 円

住民サービスの向上を図るため、個人番号カードを活用 し、コンビニで住民票や印鑑証明書、納税証明書などの交 付を行うもの

●地域づくり自由枠交付金 8285 万 6000 円

環境や防災・防犯などの活動において、地域住民で話し合い、地域の事情や特色に合った使途を決め、有効に活用できる交付金を交付するもの

平成 27 年から始 まった地域づくり自 由枠交付金活性化す れの地域を活性化す るイベントなど真は われている。 写真は 元旦福山登山



●プレミアム付商品券事業

3 億 9604 万 9000 円

3767万8000円

消費税 10%への引き上げにより低所得者・0~2才児の子育て世帯の消費に与える影響を緩和し、地域における消費を喚起・下支えすることを目的として、プレミアム付商品券を発行するもの

議会活動経費議会運営、議員の活動のための経費

🏏 一般保健福祉

●風疹の感染予防事業 3584万8000円 風疹の感染症対策として、39歳から56歳までの男性に 対し、抗体検査と予防接種を実施するもの

●健康づくり普及推進事業 4833 万 8000 円 健康インセンティブ事業などを実施することで、市民の健康づくりを推進し、医療費を削減するもの



観光・産業振興

●ふるさと納税関連経費 7億2235万3000円 税収に次ぐ重要な歳入としての「ふるさと納税」について、 返礼品の拡充を行うとともに、PRに努め、歳入確保を図 るもの

●観光施設維持管理経費 2584万2000円

観光施設の管理・運営体制を充実させ、観光客受け入れ 基盤を整えるもの





9月6日の北海 道胆振東部地震の 際は、被災地に災 害用毛布1000枚を 送った

●災害等支援事業

2000万円

災害発生時における他自治体への被災支援や被災者の受け入れ、住環境の確保などを行うもの

●消防緊急指令施設整備事業 1億3750万円 119番通報や部隊運用をより早く確実で効果的なものに するため、消防緊急指令施設の更新と強化を図るもの



自然・環境

●ごみ減量化事業

1776万7000円

ごみ排出量を削減し、限りある資源を大切にするための 普及啓発を図るもの

●森林環境整備基金積立金 512万4000円

市が行う間伐や人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発などの森林整備とその促進に要する経費の財源に充てるため、「総社市森林環境整備基金」を創立するもの

写 弱者支援

●ひきこもり支援事業 1863 万 7000 円 ひきこもり支援として、相談窓口や居場所の運営、就労支援などを行い、社会復帰につなげていくもの

●障がい者千五百人雇用事業 2139 万 1000 円 障がい者の雇用促進と就労の安定化を目指し、福祉から 就労への支援を行うもの



障がい者と雇用者をマッチングする、 障がい者ワークわく 就職面接会などを開

●障害者自立支援福祉サービス給付等事業11 億 555 万 7000 円

障がいがある人の日常生活や地域生活を支援するために、 各種サービスを提供するもの



●高年齢者労働能力活用事業 2046 万 5000 円 長年培ってきた職業的経験や能力を生かしたいと望む高 年齢者に働く場を確保し、生活の充実や健康保持の発展に つなげるもの

●総社市新生活交通経費 7182 万 7000 円 目的地までをドア・トゥ・ドアで送迎する「雪舟くん」 を運行することで、交通空白地を解消し高齢者など交通弱 者の移動手段を確保するための経費



●道路維持経費 1 億 3914 万円 市道の修理などに要する経費

●南北道整備関連事業 1億8815万8000円 刑部三須線をはじめとした南北道4路線の整備を行い、 交通の利便性を向上させるもの



●調理場新設事業 17 億 4452 万 1000 円 東西 2 つの調理場とも老朽化が進んできたことから、両施設を統合した学校給食共同調理場を新設するもの

●学校力向上教員加配事業 1億4372万8000円 学校力向上や学校適応などに取り組むため、各学校の課題に応じて教員を加配するもの





解体ごみ置き 場となっている 総社西公園

●災害廃棄物の処理・被災家屋解体等経費

5 億 6550 万 5000 円

西日本豪雨により発生した災害廃棄物の処理や被災家屋 解体に要する経費

・排水対策事業 1 億 4000 万円 ●浸水被害を解消するため、排水ポンプの設置などを行う ●

●復興住宅の整備事業 1000 万円 西日本豪雨被災者向けの復興住宅を整備するもの

●水難救助資機材等整備事業 2957 万 2000 円 消防団員安全装備品や救助ボートなどの水難救助資機材、 無人航空機(ドローン)の整備を行うもの

●土砂災害洪水ハザードマップ見直し事業 **594 万円** 土砂災害洪水ハザードマップを見直し、全戸に配布して 防災意識の向上を図るもの



●児童虐待防止事業 410 万 2000 円 子どもを虐待から守るため、地域をあげて子どもを見守

子どもを虐待から守るため、地域をあげて子どもを見守り、子どもが安心して暮らせる環境を整備するもの

●小児医療費 2億7762万3000円 保険により医療を受けた場合に、自己負担額の全額(中学生通院は1割が自己負担)を給付する経費

●私立保育所等運営委託事業及び 私立保育所助成事業 20億3340万3000円 私立保育所12園、公設民営保育所1カ所と、小規模保育 所や事業所内保育所の運営費と事業費の補助



子育て王国 そうじゃとして、多角的な 子育て支援 業を目指す

9 広報そうじゃ 2019.5